

		最終計画額 H24.7.31契約書	法人からの 実績報告書 H25.3.6提出	町から県への 実績報告書 H25.3.13提出	宮古の振興局の 実地調査結果 H25.3.26結果
人件費	新規雇用	435,000	248,000	232,000	203,000
	人件費(賃金等)	388,000	204,000	211,000	187,000
	社会保険料	47,000	44,000	17,000	14,000
	雇用保険料			4,000	2,000
	その他雇用	22,000	13,000	7,000	6,000
	人件費(賃金等)	20,000	13,000	7,000	6,000
	社会保険料	2,000		0	0
人権費 計		457,000	261,000	239,000	209,000
人件費以外の経費	リース費	191,000	434,000	33,000	30,000
	材料費	33,000	12,000	9,000	8,000
	消耗品費	77,000	71,000	63,000	54,000
	制服費	16,000		8,000	5,000
	燃料費	30,000		8,000	8,000
	施設管理	14,000		4,000	4,000
	事務用品	8,000		40,000	35,000
	その他	9,000		3,000	2,000
	研修費	18,000	6,000	6,000	3,000
	旅費	12,000	14,000	12,000	3,000
	賃借料	2,000	2,000	2,000	1,000
	福利厚生費	1,000	0	0	0
	人件費以外の経費 計		334,000	539,000	125,000
合計		<b>791,000</b> ①	800,000	364,000	<b>308,000</b> ②

今回の補正 ①-②=791,000-308,000=483,000千円

# 大雪りばあねっと。への委託事業

## 予算の大幅減額

### 赤字回避のため

## 約4億8300万円補正

3月26日の第2回臨時議会に一般会計予算から歳入歳出それぞれ4億8292万7千円を減額する補正予算案が緊急提案されました。

これはNPO法人「大雪りばあねっと。」に委託した緊急雇用創出事業に対する県補助金の減額に伴うもので、赤字決算をさけるため、法人に支出済み額との差額を財政調整基金から繰り入れるものです。活発な質疑がなされ賛成10名、反対4名で可決されましたが、その質疑の内容をお伝えします。

**問** 補助金が減額された理由を示せ。  
**倉本主幹** 3月6日に法人から仮報告書の提出があり、町で審査したところ補助事業として認められない部分があった。

減額の中身は、人件費については勤務実態をタイムカードや日誌を洗い直し、給与規定にない手当分、勤務実績を再計算した。勤務実績のわからない北海道の3人分は全て減額とした。物件費については3億9千万ほどリース代が減額となる。内訳はオールブリッジの3件で1億4400万円、建築関係で認められないものが1億6千万、その他9千万程度。その他に、消耗

品、旅費も補助対象外、領収書がないものをカットして町から県への実績報告書とした。

その後14日、15日に振興センターの審査があり、県の精査の結果を本日得た。県ではさらに3千万程度の賞与を全て減額した。

**問** この問題について、前執行部、現執行部とも、責任の自覚も持たず、反省も弁も述べられていないのは、**甲斐谷副町長** 法人からはいまだに書類が100%出されず、質問のやり取りがなされている。現状で責任を明らかに示すのは時期尚早と思う。

今は真相の解明が先である。内部調査、第3者委員会、あるいは司法の調査な

どによって明らかになった時点で、責任あるいは反省の弁について、論ずる時が来ると考える。

**問** 司法の手にはゆだねることとは本当にできるのか。

**佐藤町長** このような事案は法廷を開いても、証拠がしつかりとなければ、逆に山田町が損害賠償なり名誉棄損とされることも考えられるので、専門的な知識を持った弁護士と相談しながら進めてゆくべきと考える。

**問** 赤字決算とした場合どのような影響があるのか。  
**甲斐谷副町長** 委託先が適切に使用しなかったことで補助対象外となったので、筋とすれば「大雪りばあねっと。」に返還請求をして、返還されれば問題ないわけであるが、現状ではそれが期待できない。自治体の会計システム上、3月31日までに赤字会計を出さないよう手段を講じねばならない。

**上林企画財政課長** ペナルティ以前の問題、赤字で決算をむかえることは、町民の皆様にも申し訳ないし、他の市町村に与える信用の度合いを大きく損なうことになる。

**反対意見** 今回の提案だと福祉の向上、インフラ整備などいろいろな形で町民が耐えてゆかねばならない。御蔵の湯の建設にしてもどこに責任があるのかはつきりしない。説明への努力が執行部に見られない。

**反対意見** 管理監督責任が全く見受けられない。帳尻あわせのための補正は受け入れることはできない。

**賛成意見** 「大雪りばあねっと。」の7億9千万の予算は議員が全員賛成して通したものである。議員にも責任がある。

今回の補正はいずれは通さなければならぬので通すべきである。

**賛成意見** 今回の件で「大雪りばあねっと。」が理に合わない予算の使い方をしていたことが明白になったと受け止める。  
法人に補助金返還請求をし、それが不履行になった時点で正式に行政、議会に責任が生じる。補正は通して先に進むべきと思う。

**反対意見** 今回の補正の他にもまだ出てくる可能性があるのに、今出す必要はない。  
第3者委員会の結果もまだ出ていない、司直の手に委ねると言うのが、どこまで進んでいるのか、監督責任も含め責任の所在もはっきりしていない。そのような状況では町民の納得は得られない。